

「子どもの貧困対策 東北フォーラム」実施企画書

公益財団法人あすのば

日時	2024年10月25日（金）13時～17時
会場名	エル・パーク仙台 スタジオホール
定員	会場/ 定員100人、Zoom オンラインミーティングも同時中継予定
対象	行政担当者・教育関係者・議員・支援者・県民・市民・当事者
開催名	子どもの貧困対策 東北フォーラム
主催 後援等	主催 公益財団法人あすのば 共催 宮城県 後援 こども家庭庁、仙台こども財団、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県（予定） 助成 公益財団法人キリン福祉財団
趣旨	<p>全国各地で子どもの貧困対策を推進することを目的として当法人設立当初から昨年5月までに「子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン」が完遂しました。開催地の都道府県に共催・後援をいただき、各地で子ども・若者支援に取り組む支援者の方々も交え、それぞれの地域の状況にあわせたプログラムで実施しました。</p> <p>昨年度からこども家庭庁が発足し、こどもの権利を保障するこども基本法が施行されました。先の国会では「子どもの貧困対策法」が「こどもの貧困解消法」へと抜本的な改正が実現しました。今後は、都道府県・基礎自治体でのこどもの貧困対策を含んだこども支援計画などの改定・策定などがすすめられます。</p> <p>こうした大切な時期に、全国キャラバンでの地方自治体・支援団体とのつながりをさらに発展させ、都道府県を超えて地域ブロックでの子どもの貧困対策がさらに推進されることが大切だと考えています。各地での先駆的な取り組みのヨコ展開や実効性の高い自治体のこども支援計画の策定につなげるためにブロック集会を開催します。</p>
内容	<ol style="list-style-type: none"> 主催者あいさつ 基調講演（50分） 吉田美穂 弘前大学 大学院教育学研究科 教職実践専攻 教授 「子どもの貧困」プロジェクト代表 『地域で向き合う 子どもの貧困-教育と福祉をつなぐ青森の試みー』 ＝休憩＝（10分） あすのば給付金受給者調査 東北在住者集計の発表（20分） パネルディスカッション（80分）「先駆的事例に学ぶこどもの貧困対策」 パネラー（50音順） 江川和弥 寺子屋方丈舎理事長（福島県） 川又英子 山形県ひとり親家庭応援センター相談員（山形県） 千葉菜亜莉 特定非営利活動法人TEDIC 支援員（宮城県） 保坂ひろみ 秋田たすけあいネットあゆむ 代表（秋田県） 山屋理恵 NPO 法人インクルいわて理事長（岩手県） （コーディネーター） 大橋雄介 NPO 法人アスイク 代表理事（宮城県） 助成団体あいさつ 公益財団法人キリン福祉財団（3分）＝休憩＝（10分） 分科会（60分）【参加者＝会場参加のみ】 コーディネーター：三浦侑太 NPO 法人アスイク 職員

参加費	無料
応募	あすのばウェブサイト (https://www.usnova.org) 内の申込みフォームからお申込み。 FAX での応募も可能とします。
問い合わせ	公益財団法人あすのば 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-18-1 赤坂ヒルサイドビル 5F 電話：03-6277-8199 FAX：03-6277-8519 メール：info@usnova.org

【全国キャラバンについて】

「子どもの貧困対策 全国 47 都道府県キャラバン」は、2015 年度の 6 道府県の交流会を含め 47 全都道府県で開催され、合わせて 4,333 人が参加しました。各都道府県や各市町村からは共催や後援・協力をいただき、事前協議を行って開催する都道府県ごとにプログラムの内容を柔軟に決めてきました。主なプログラムとしては、支援団体からの活動報告やパネルディスカッションなどを行ってきました。開催にあたって各地の方々との積極的に意見交換を行い、当財団が行ってきた政策提言にも生かしてきました。

2016 年度、沖縄県（那覇市）から開始し、兵庫県（明石市）・高知県（高知市）・長野県（長野市）・栃木県（宇都宮市）・山形県（山形市）の 6 県で「全国キャラバン」をスタートし、合計 650 人が参加しました。2017 年度は、千葉県（千葉市）・富山県（富山市）・熊本県（熊本市）・京都府（京都市）・山口県（山口市）・香川県（高松市）・岐阜県（岐阜市）・長崎県（大村市）・福島県（福島市）の 9 府県で、合計 879 人が参加しました。2018 年度は、岩手県（盛岡市）・神奈川県（藤沢市）・石川県（金沢市）・奈良県（奈良市）・三重県（津市）・静岡県（静岡市）・山梨県（甲府市）・広島県（広島市）・東京都（渋谷区）・佐賀県（佐賀市）の 10 都県で、合計 932 人が参加しました。2019 年度は、新潟県（新潟市）・福井県（福井市）・青森県（青森市）・宮崎県（都城市）・和歌山県（和歌山市）・大分県（大分市）・愛媛県（松山市）の 7 県で、合計 738 人が参加しました。2020 年度は、茨城県（水戸市）・滋賀県（大津市）の 2 県で、合計 225 人が参加しました。2021 年度は群馬県（前橋市）・鹿児島県（鹿児島市）・鳥取県（鳥取市）の 3 県で、合計 187 人が参加しました。2022 年度は島根県（松江市）・徳島県（徳島市）の 3 県で、269 人が参加しました。2023 年度は、埼玉県（さいたま市）で開催し、103 人が参加しました。

【ブロックでのフォーラムについて】

全国キャラバン終了後、地域ブロックごとのフォーラムを 2023 年度からスタートし、第 1 回の「関東甲信越ブロック集会」は、2023 年 11 月 21 日（火）に東京で開催され、会場・オンラインをあわせて 151 人が参加しました。報告は、以下のとおりです。<https://www.usnova.org/notice/6215>

第 2 回の「九州・沖縄フォーラム」は、2024 年 2 月 27 日（火）に福岡で開催され、会場・オンラインをあわせて 127 人が参加しました。報告は、以下のとおりです。<https://www.usnova.org/notice/6431>

第 3 回の「関西フォーラム」は、2024 年 7 月 16 日（火）に滋賀で開催され、会場・オンラインをあわせて 161 人が参加しました。報告は、以下のとおりです。<https://www.usnova.org/topics/7052>

以上